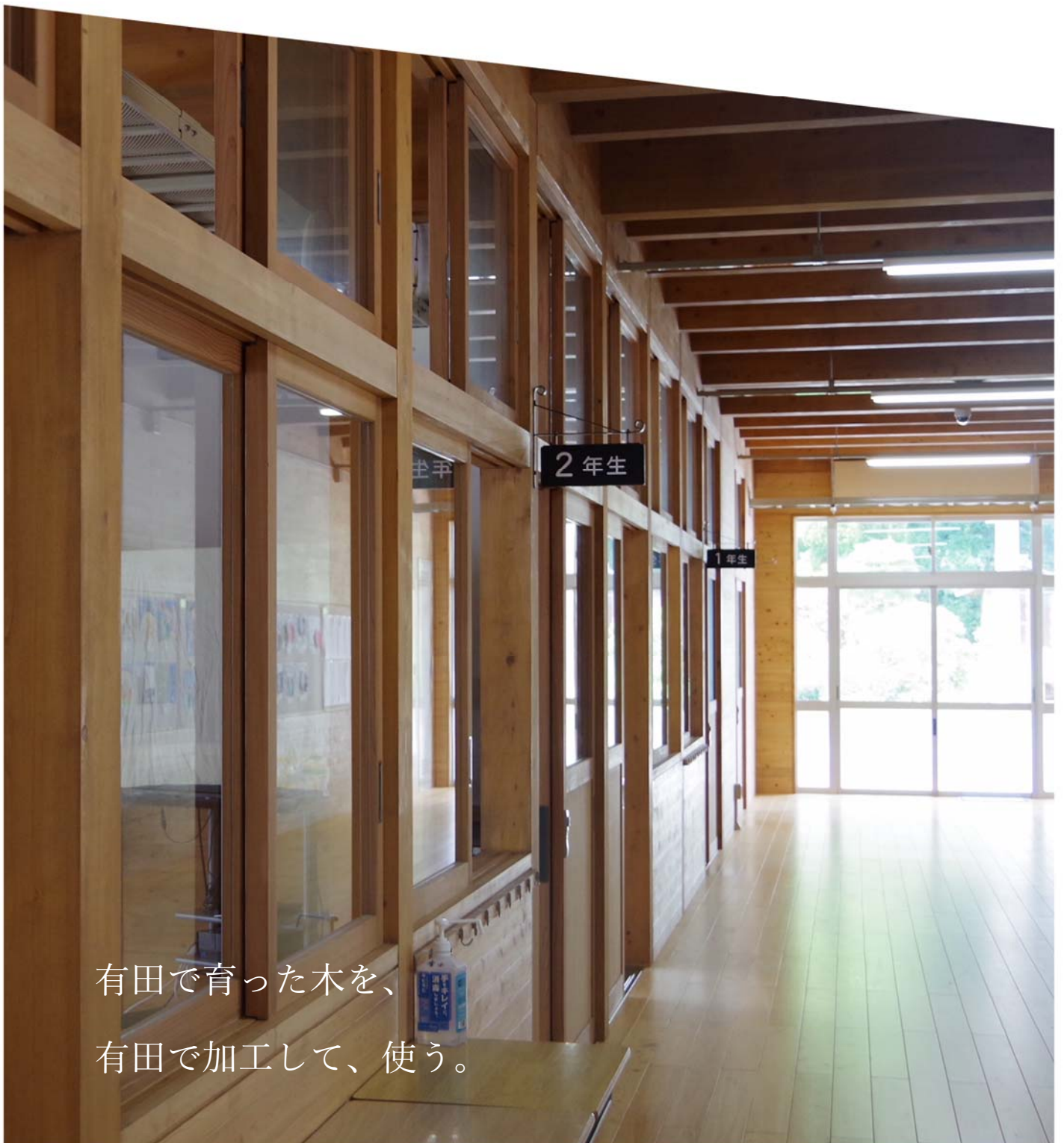


SAGA *na* RINGYOU.

VOL. 655

Issue 2018.09.01

佐賀の林業



有田で育った木を、
有田で加工して、使う。

Introduction



表紙の紹介

平成 30 年 2 月に完成した有田町立有田小学校は、陶都有田の歴史感じる伝統的な景観に自然となじむデザインで、校舎内に一歩足を踏み入れると、町産ヒノキの香り漂う素敵な空間が広がります。

校舎には、平成 27 年に有田町有林を伐採し、その後、地元で製材・乾燥・加工されたヒノキを使用。『地元の木に囲まれた校舎で、児童らにのびのびと育って欲しい』という関係者の強い思いが実ったものです。

教室棟は木造で、内装にも木材がふんだんに使用されています。また、木造の校舎にふさわしく、児童が使用する机と椅子も県産スギでできた諸富家具を採用しています（ふるさと木材利用拡大推進事業：県補助金活用）。

校舎建築関係者の皆さま、一見の価値あります。

目次

林政だより

- 03 間伐・再造林・下刈の支援を拡充しました
- 04 平成 30 年度治山・林道コンクール審査結果について

普及だより

- 06 伊万里農林高校で「出前講座」開催（伊万里農林）

林業ひろば

- 08 佐賀県庁県民ホールで表彰式を盛大に開催
- 10 鹿島市海の森で下刈り作業

林試だより

- 11 「研究フォーラム 2018」を開催

間伐・再造林・
下刈りの支援を
拡充しました

次代へつなぐ森林（もり）再生事業 《第3期佐賀県森林環境税事業》

県では、森林等の健全化を促進するために、平成30年度から「次代へつなぐ森林再生事業」を新たにスタートさせました。

山主さんが自ら実施したり、委託等で行う森林の間伐（保育・搬出）や間伐を行っても良好な生育が期待できない森林については、皆伐後の再造林を支援しています。また、平成31年度からは再造林地の下刈りにも支援を広げることとしています。

事業を活用してみたい方は、お持ちの森林が事業の対象となるのかどうか、まずは最寄りの県農林事務所（林務課）へご相談されてはいかがでしょうか。

なお、事業の着手前に計画書等の提出が必要となりますので、ご注意ください。

（林業課 間伐造林担当 石田秀明）

Q 拡充内容・補助率

① 自力等支援

- 1 間伐：補助率 68%
- 2 森林作業道：補助率 85%
- ※対象：造林事業（国補助）の対象とならない森林

② 皆伐後の再造林等支援

- 1 再造林：補助率 90%（58%）
- 2 下刈り：補助率 100%（68%）
- （ ）は造林補助率が36%の場合
- ※対象：造林事業（国補助）の対象となる森林

【手入れが遅れた森林等】

① 間伐により再生可能な森林



イメージ

間伐

② 間伐では良好な生育が期待できない森林



イメージ

皆伐
再造林

- ・葉の量が少なく成長が見込めない
- ・幹が細く、風や雪に弱い
- ・既に、風等の被害を受けている

健全な森林へ誘導！



手入れが遅れた森林の再生・森林の荒廃化を未然に防止

平成三十年度 治山・林道コン クール審査結果 について



最優秀賞（知事賞）

部 門：治山工事
 施工者：天建組株式会社
 復旧治山事業 山中地区（唐津市巖木町）

治山・林道コンクール概要

当コンクールは、佐賀県治山林道協会が、治山工事と林道工事における「施工技術の向上」、「木材利用の推進」、「林道の適切な維持管理の推進」を目的として毎年開催しており、

- ① 治山工事
 - ② 治山での木材使用工事
 - ③ 林道維持管理
 - ④ 林道工事
 - ⑤ 林道での木材使用工事
- の5つの部門で審査し、最優秀賞と優秀賞を決定しています。

今回は、平成29年度中に実施した工事等の中から、一次審査として、それぞれの農林事務所において品質、外見、施工管理などで優秀な工事等を推薦していただき、二次審査として、審査員が現地に行き、推薦書も見ながら点数を付けていくという方法で行いました。なお、それぞれの部門で最優秀賞に決定された場合、県治山林道協会から全国のコンクールに出品するととされています。

(1) 治山工事

治山工事の部門では、佐賀市・鳥栖市・唐津市・伊万里市・鹿島市で施工された、床固工・谷止工・法枠工などの5工事を審査しました。

最優秀賞には、唐津市巖木町の山中地区において、天建組（株）が施工した工事に決定しました。構造物（床固工）の表面仕上げなどの出来栄が、非常に優れていたこと、転石をうまく利用して護岸などが整備されていたこと、さらに、品質、出来形、安全対策などの施工管理も優れていたことが、高く評価されました。なお、他の4工事は優秀賞に決定しました。

(2) 治山木材使用工事

治山の木材使用工事の部門では、鳥栖市・伊万里市・鹿島市で行った3か所の治山工事における丸太階段工・丸太筋工・丸太式の残置型枠工などを審査しました。

いずれも、設計段階から景観・環境に配慮した工法を採用

し、それぞれの現場で丸太などの木材がふんだんに利用されていました。審査の結果、すべて優秀賞に決定しました。

(3) 林道維持管理

林道の維持管理の部門では、佐賀市、唐津市、伊万里市、太良町で管理している4路線について、審査しました。

いずれの路線も、市町の条例や規程に基づき、除草や支障木除去、崩土・落石の除去等を地元委託するなどして適切に維持管理している優良な事例でしたが、特に、佐賀市の「林道小副川線」は、草刈りや側溝清掃などを定期的に実施し通行車両の安全確保に努め、さらに、間伐及び間伐材の搬出に積極的に利用されていることから、この路線を維持管理している佐賀市を最優秀賞に、他の3市町を優秀賞に決定しました。

(4) 林道工事

林道工事の部門では、唐津市・伊万里市・太良町で施工さ



最優秀賞（知事賞）

部 門：林道工事
 施工者：株式会社吉光建設
 道整備交付金事業工事（開設）
 烏帽子岳線 1 工区（伊万里市）

れた林道 3 路線の開設工事を審査しました。
 最優秀賞には、伊万里市において、（株）吉光建設が施工した森林管理道「烏帽子岳線 1 工区」の開設工事に決定しました。この工事現場では、多量の水が出たり、硬い岩が想定以上に出現といった施工条件が厳しい現場でありながらも、工程管理を適切に行いながら出来栄も優れた林道を完成させたこと、さらに、施工管理全体が優れていたことが、高く評価されました。なお、他の 2 工事は優秀賞に決定しました。

(5) 林道木材使用工事

林道の木材使用工事の部門では、伊万里市・嬉野市にある林道の 2 路線において、通行車両の視距確保や維持管理の軽減のための法面保護材として「木製パネル」や「丸太」を使用した林道工事を審査しました。

最優秀賞には、伊万里農林事務所が発注した工事に決定しました。切土法面に「木製パネル」を使用し、下方の盛土法面には

「丸太伏工」が施工されている。「木製パネル」が耐久性・施工性・独自性の面で優れていることが評価されました。なお、他の 1 工事は優秀賞に決定しました。



最優秀賞（知事賞）

部 門：林道維持管理
 管理者：佐賀市
 路線名：林道 小副川線

〇おわりに
 今回のコンクールで審査した工事につきましては、いずれも他の工事の模範となるような立派な出来栄で、完成までの現場管理も優れていました。
 今後とも、このコンクール等を通じて、治山及び林道工事の関係者の技術の向上、県産木材の利用推進、さらに、林道の適正な維持管理が図られることを期待します。
 （森林整備課 技術監）



最優秀賞（協会賞）

部 門：林道木材使用工事
 発注者：伊万里農林事務所
 道整備交付金事業工事（開設）
 二里・下分線 1 工区（伊万里市）

伊万里農林高校で

「出前講座」開催



新規就業者の確保・育成

伊万里農林事務所管内では、(株)伊万里木材市場、西九州木材事業協同組合、中国木材(株)伊万里事業所により形成される「伊万里木材コンビナート」において、木材の集荷・加工・販売が一体的に行われており、林業の振興を図るうえで恵まれた環境と言えますが、管内の木材生産活動が十分に行われているとは言えない状況です。これは担い手不足によるところが大きいと考えられるため、新規就業者の確保・育成に関する取組に力を入れているところです。

出前講座について

今回は、伊万里農林高校を対象とした出前講座について紹介します。これは、林業事業体を就職先の候補として考えてもらうため、就職活動が本格化する前の平成30年6月21日に、伊万里農林高校森林工学科林業コースの3年生を対象として開催したものです。

まずは教室内で県内における森林・林業の概要や管内林業事業体の業務内容、高性能林業機械による施業等について紹介しました。

林業事業体を紹介する際は、イメージしやすいよう、一日の仕事の流れについて写真を交えて具体的に伝えました。

高性能林業機械の操作体験

その後、伊万里西松浦森林組合による搬出間伐が行われている現場（伊万里市大川町東田代地区）にて、機械の操作を体験してもらいました。同組合の技術職員の指導のもと、チェーンソー、プロセッサ、フォワーダを交代で操作してもらいました。高性能林業機械を活用した作業は、生徒が持つ林業のイメージに無かったようで、プロセッサやフォワーダに興味津々の様子でした。

一人でも多くの生徒が森林・林業に興味を持ってもらい、林業事業体を就職先の候補として考えてもらえれば幸いです。



（伊万里農林事務所 林務課 普及担当 夏井 雄一郎）



伊万里農林高校で「出前講座」開催



氏名	田中 抄昌さん (一般職員)	栗原 一誓さん (技術職員)
志望動機	伊万里農林事務所の出前講座で林業に興味を持ちました。高性能林業機械が印象深かったです。	高校で森林・林業について勉強したことを活かしたかったからです。
現在の仕事内容	先輩の仕事を手伝いながら勉強中です。現場で測量したり GIS を使って図面を作成したりしています。また、現場を知るために竹林伐採などの作業をすることもあります。	先輩に教えてもらいながらチェーンソーによる伐倒作業等をしていますが、夏場になると下刈作業が多くなりました。また、時々緑の雇用の研修に行きます。
楽しいこと 苦勞していること	仕事面ではまだ分からないことも多く苦勞していますが、事務所の雰囲気はとてもいいです。	夏場の下刈作業は暑くてキツイですが、休憩中は先輩方と楽しくおしゃべりできます。
先輩たちは どんな人	皆さん明るく、よく話しかけてくれます。	丁寧に教えてくれますし、皆さんとてもやさしいです。
今後の 意気込み	早く仕事を覚えて、一人でも業務ができるようになりたいです。	日々研鑽に励み、先輩方に早く追いつきたいです。



佐賀県庁県民ホールで表彰式を盛大に開催



平成 30 年 8 月 27 日（月曜日）に、佐賀県庁新館 1 階 県民ホールにおいて、第 1 回森川海人っ感謝状贈呈式及び 第 62 回佐賀県森林・林業・緑化功労者等表彰式が開催され、山口知事から表彰状等が手渡されました。

県民ホールは、2 階まで吹き抜けで天井が高く、美術館のように落ち着いた空間が広がっており、最近では、様々な展示会やイベント等に活用されています。

森林・林業関係者の表彰式等を県民ホールで開催するのは今回が初めての試みでしたが、会場には一〇〇名以上の方が集まり盛大に開催することができました。

当日、受賞者の皆さんには木のリボン（ウッドスライスリボン）で出来たオリジナルの胸章を準備しました。また、会場にも木のリボンでできたリースや花を飾りました。これは、森・川・海の自然に因んだ演出をして、受賞者の皆さんをおもてなしたいという主催者の思いが込められたものです。胸章は、受賞者の皆さんへ記念としてプレゼントしたところ、大変喜んでいただきました。

ウッドスライス
リボン（胸章）



【受賞者の皆さん】

○森川海人っ感謝状

森・川・海のつながりや管理の重要性などを意識するとともに、その恵みに感謝するため、森・川・海の保全活動等が顕著な個人団体等に感謝状を贈呈するものです。

・（森）鹿島嬉野森林組合

・（川）特定非営利活動法人嘉瀬川交流軸

・（海）佐賀県有明海漁業協同組合鹿島市支所

○佐賀県森林・林業・緑化功労者

地域林業の振興及び緑化推進のため、永年にわたって貢献し、その功績が顕著な個人又は団体を表彰するものです。

【個人の部】

・最優秀賞 鶴田 正明（唐津市）

・優秀賞 岸 徳美（基山町）

【団体の部】

・最優秀賞 NPO 法人さかの樹エコトープ

SATOMORI（佐賀市）

・優秀賞 古代の里鏡会（唐津市）



佐賀県森林・林業・緑化功労者の皆さん

第62回佐賀県森林・林業・緑化功労者等表彰式



森川海人っ感謝状を贈呈された皆さん

第62回佐賀県森林・林業・緑化功労者等表彰式



○佐賀県優良緑の少年団

次の世代を担う青少年の緑化活動の中核的な活動を行っている「緑の少年団」の相互研鑽をはかり、今後の活動の充実、発展に資するため、優れた活動を行っている緑の少年団を表彰するものです。

- ・最優秀賞 小城市砥川小緑の少年団（小城市）
- ・優秀賞 白石町有明緑の少年団（白石町）

○第3回佐賀の木の住まいコンクール

佐賀県産木材のイメージアップを図るため、県産木材をふんだんに使用し、「木の心地よさ」や「かつこよさ」をアピールできる魅力的なデザインの木造住宅を施工された施工者を表彰するものです。

- ・最優秀賞（知事賞） 古川建築(株)
- ・優秀賞（ふる郷の木づかいプロジェクト会議委員長賞）(株)坂井建築
- ・優秀賞（一般社団法人佐賀県木材協会代表理事会長賞）(有)夢木香
- ・特別賞（佐賀新聞社賞）(株)住工房プラスアルファ
- ・特別賞（サガテレビ賞）(有)諸岡建設

受賞された皆さん、本当におめでとうございます。

（林業課専門技術員）



第1回森川海人っ感謝状贈呈式及び
第62回佐賀県森林・林業・緑化功労者等表彰式



佐賀の木の住まいコンクール受賞者の皆さん

第62回佐賀県森林・林業・緑化功労者等表彰式



佐賀県優良緑の少年団の皆さん

鹿島市海の森で下刈り作業

平成 30 年 7 月 21 日（土曜日）に、鹿島市、鹿島市環境衛生推進協議会の主催で鹿島市海の森下刈り作業が開催されました。

鹿島市海の森は、有明海的环境を守る目的と市内 4 つの漁業協同組合の合併を記念して、平成 7 年 3 月に鹿島市と漁協の共催で広葉樹を植栽する植樹祭を開催したことが始まりで、その後、夏に下刈り、春に植樹活動が行われ、今回の作業で 25 回目を数えます。

造成した森林の面積は約 23ha、植栽本数約 6 万本と立派な森林が造成されました。

今回は、平成 28 年 3 月及び平成 29 年 3 月にクヌギ、カエデ、クリを 2,400 本植樹した山浦区の大谷森林公園で行われ、今年の夏を象徴する猛暑の中、約 150 名の漁業者やボランティアの方々の参加がありました。

作業時間は約 1 時間でしたが、予定されていた約 1 ha の範囲をケガや熱中症なども無く無事終了することができました。

今後も、引き続き「海の森」の活動が続き、豊かな有明海が後世に引き継がれることを願っています。

（杵藤農林事務所 林務課 普及担当 武田 経孝）



太良町中山キャンプ場山開き

平成 30 年 7 月 18 日（水曜日）太良町主催で太良町中山キャンプ場山開き式が開催されました。

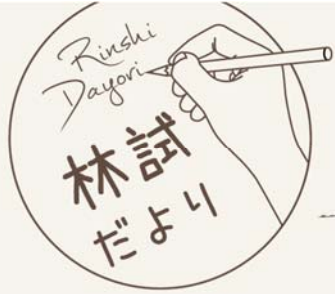
式典には、太良町長をはじめ県議会議員、町議会議員、地元関係者など約 40 名の方が出席され、玉串奉奠の神事を行い、安全を祈願しました。

当キャンプ場は、多良岳への登山口にもなっており、オオキツネノカミソリの群生地や座禅岩などの絶景スポット、太良嶽神社上宮などの歴史文化が多数あり、見どころがいっぱいで登山初心者の方でも楽しむことができます。

是非、足を運んでみてはいかがでしょうか。



（座禅岩からの展望）



「研究フォーラム2018」を開催

平成30年7月5日（木曜日）、佐賀県林業試験場の3階講堂において、林業試験場における研究内容や成果等について広く情報発信を行うとともに、関係者と意見交換を行い、本県の試験研究の推進及び森林・林業・木材産業の振興に資することを目的に「研究フォーラム2018」を開催しました。



当日は、生憎の雨模様でしたが、県内の森林・林業・木材産業の関係者を始め、隣県の公設林業試験場の研究員など約50名の方々にご参加頂きました。

フォーラムでは、当場の研究員による研究発表が2課題と特別講演として九州大学大学院農学研究院准教授の藤本登留先生に「木材の乾燥について」と題して、木材乾燥の必要性や各種木材乾燥技術の紹介等、大変示唆に富む講演をして頂きました。



研究発表①

「佐賀県産スギ平角材の強度性能について」

研究開発担当副主査 林崎 泰

佐賀県産スギ平角材（120×240×4,000mm）について、すべての試験体（92本）についてJAS機械等級区分のE50以上の曲げ強度を有することが確認された。

また、高温蒸気式乾燥（高温セット）とビニールハウスでの天然（太陽熱）乾燥との組み合わせでは、天然（太陽熱）乾燥6か月程度で含水率20%以下を達成することが確認された。

研究発表②

「ギョウジャニンニクの栽培技術とモニター栽培」

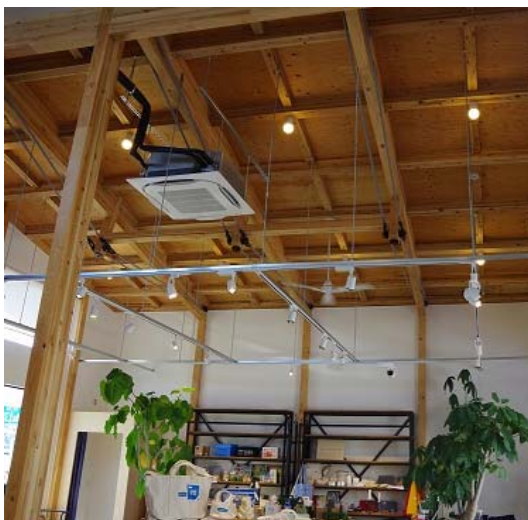
研究開発担当係長 宮崎 潤二

アリシンを多く含み疲労回復や滋養強壮に効果があるとされ、主に北日本で栽培されているギョウジャニンニクが佐賀でも栽培可能なことが確認された。また、当日はギョウジャニンニク入りの餃子の試食も行い、参加者の関心も高かった。

参加者のアンケートでは、概ね好評の意見や感想等を頂いており、試験場としても今後の試験研究への取組に対して勇気を頂いたところでした。ご多忙の中、特別講演をして頂いた九州大学の藤本先生始め、参加して頂いた皆様方にこの場を借りて御礼申し上げます。

（佐賀県 林業試験場 副場長 永守 直樹）

なんだか「木」になる県内スポットへ行ってみました！



ATA工法の雑貨屋・カフェ「SCOL SHOP」

(〒846-0002 多久市北多久町大字小侍 1108-4)

日刊木材新聞に笹川工建さんが本社事務所に在来工法と ATA 工法を組み合わせ新築されたという記事が5月に掲載され、県内2事例目となった ATA 工法の建物を拝見しに行ってきました！

外観から既に素敵なお店は、木造2階建てとなっていて2階が事務所、1階は同社グループ会社が展開する雑貨店とカフェ。なんと、ATA工法はその雑貨店の一部とカフェに採用されていました。2階部分まで吹き抜けになっている雑貨店は、天井に ATA 工法の接合トラスが現しになっているのですが、それが違和感なく馴染んでいてとても素敵です！

ATA工法部分の柱や梁には、スギと米松のハイブリッド集成材が使用されており、ムク材には県産木材が沢山使用されているそうです。雑貨屋めぐり、カフェめぐりで一度訪れてみてはいかがでしょうか。(カフェは10月OPEN)



県産木材でリノベーションしたスイーツ店

「SWEETS LABO Tem.de.Suc.」

(〒845-0022 小城市三日町久米 2120-2)

平成29年度「さがつく木のインテリアデザイン創出事業(県補助)」により、著名なデザイナーのデザイン力と県産木材をコラボさせて、リノベーションを実施した物件です。可愛いお菓子が並ぶカウンターやレジ周りに県産木材が使用されています。

小城駅前という立地でありながら、店舗は築100年を超える古民家。

日本の歴史を感じる古民家で、洋菓子と紅茶を味わうことができ、さらに木の良さも感じられる贅沢な場所となっています。

大通りからはちょっと見つけにくい「穴場スポット」といった印象なので、ワクワクしながらお店探しも楽しんでみてはいかがでしょうか。



佐賀の木材市況の掲載について

「佐賀の木材市況」は、さがのよか木を応援する「よかウッド」HPに掲載することとなりました。

今後の主な行事

●10月28日(日) ふれあいの森フェスタ 佐賀県立21世紀県民の森(佐賀市富士町)

森・川・海の工作体験や親子で参加できるヤマメのつかみ取り、植樹体験、森川海の幸の試食などの催しがあります。

●11月 4日(日) よかウッドフェスタ 場所: どん3の森(佐賀市天神)

「さがの木を使うことが、さがの森を良くしていること」を知ってもらうイベント。県産木材を使った木工工作などの体験型イベントが盛りだくさん！その他、棟上げ実演、もち投げ、チェーンソーアート実演、ミニライブも。

●11月11日(日) 第8回佐賀県きこり選手権 場所: 唐津市七山

佐賀県の山を守り育てている林業技術者が伐倒や丸太切り等の技を競い合う大会。木工体験等もあり見学自由。

林業の技がここに集う

11/11(日) 9:00~16:00

第8回佐賀県きこり選手権

AM 伐倒競技 唐津市七山白木 (唐津市有林)	PM 丸太切り競技 唐津市七山仁部 (旧七山小学校跡地)	AM+PM 木工体験 唐津市七山仁部 (旧七山小学校跡地)	見学自由 詳しくは QRコードを CLICK!
----------------------------------	---------------------------------------	--	----------------------------------

主催: ふる郷の木づくりプロジェクト会議 流域森林・林業活性化部会
(事務局 一般社団法人 佐賀県木材協会) 電話: 0952-23-6181 FAX: 0952-29-2187

Follow us!



「みんなで育てよう! さがの森林」
Facebook公式ページはこちら!
気になる方は「いいね!」しよう
<http://www.facebook.com/saganomori>



さがのよか木を応援する「よかウッド」
YOKAWOOD
佐賀県木材業課・佐賀県林業改良普及協会
<http://www.yoka-wood.jp>



編集・発行

平成30年9月1日発行

〒840-8570 佐賀市内1丁目1番59号

佐賀県木材業課・佐賀県林業改良普及協会

TEL: 0952-25-7132

※この冊子は、「佐賀の森の木になる紙」
を使用しています。

